



大塚先生コラム

桜の季節も終わりましたね。みなさん、10連休はどう過ごされましたか？能代山本地区では、GW 中もインフルエンザにかかっている子ども、その家族がチラホラいました。インフルエンザは、ここ 20 年位で対応がずいぶん変化しました。何といてもインフルエンザ抗原迅速検出薬(迅速診断キッド)により、診断がより正確に早く行われるようになった事と抗インフルエンザ薬がいくつも開発され治療が出来るウイルス感染症となったことが一番でしょう。私が若い頃に経験したインフルエンザ脳炎、脳症は少なくなりました。予防となるインフルエンザワクチンも一時期接種率が悪くなっていましたが(集団接種でなくなったため)、ここ数年は国民の 30%位になっています。それでも低いですね。子どもはもっと高く 50~70%となっています。もう一つは 2012 年から学校健康安全法で(図 1・2)インフルエンザにかかった生徒の出席停止期間が決まり、みんながそれを守ることで流行が少なくなっていることです。



インフルエンザ 保育所・学校 2012年4月～学校健康安全法の一部改正にて

インフルエンザにかかった生徒は・・・
○解熱後2日間は出席停止 (幼児は3日間)
and
○発症後5日間は出席停止

図 1



登園までの日数の教え方

発症 (発熱した日)		解熱 この日は 数えぬ	1日	2日	3日	この日から 登園できる	解熱した後 3日を経過 するまで
発症 (発熱した日) この日は数えぬ	1日	2日	3日	4日	5日	この日から 登園できる	発症した後 5日を経過 するまで

図 2

小児科外来4月の感染情報

4月の小児疾患をお知らせします。

3月に引き続き、インフルエンザAの流行にて市内の保育園が休園となりました。4月下旬の流行疾患はありません。

当院は看護学生の臨地実習施設であり、今年度より小児科外来実習も加わりました。ご利用の際は、ご協力をお願いいたします。

病児保育室『はっぴい』の利用状況は下記の通りです。(受入れ人数1日3人) 2019/04/01~2019/04/27

	0~1	2~3	4~6	学 童	合 計
能代市	13	7	8	0	28
山本郡	8	1	7	1	17
その他	1	0	0	0	1
合 計	22	8	15	1	46

お薬のはなし



抗インフルエンザ薬を服用した後の異常行動(急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、徘徊するなど)の報告を、耳にしたことがあるかと思います。抗インフルエンザ薬の服用が異常行動の原因となっているかは不明ですが、これまでの調査からインフルエンザにかかった時には、薬を服用していない時でも、同様の異常行動が現れることが報告されています。自宅で療養する場合、インフルエンザと診断され治療が開始された後、少なくとも2日間は、小児・未成年者が一人にならないなどの配慮が必要です。

薬剤部長 茂 野

参考文献：厚生労働省「平成 30年度 インフルエンザQ&A」

お知らせ 2019年4月より、病児保育利用料金査定のための確認書類は提出不要となりました。詳細については、能代市のホームページでご確認ください。

<https://www.city.noshiro.akita.jp/c.html?seq=371>

独立行政法人地域医療機能推進機構(シエイコー)秋田病院

病児保育室はっぴい

〒016-0851 秋田県能代市緑町 5-22 3階ナースステーション隣り

T E L (代表) 0185-52-3271 (予約・問い合わせ) 090-8924-4253

アドレス happy@akita.jcho.go.jp ※メールでの予約対応はいたしません